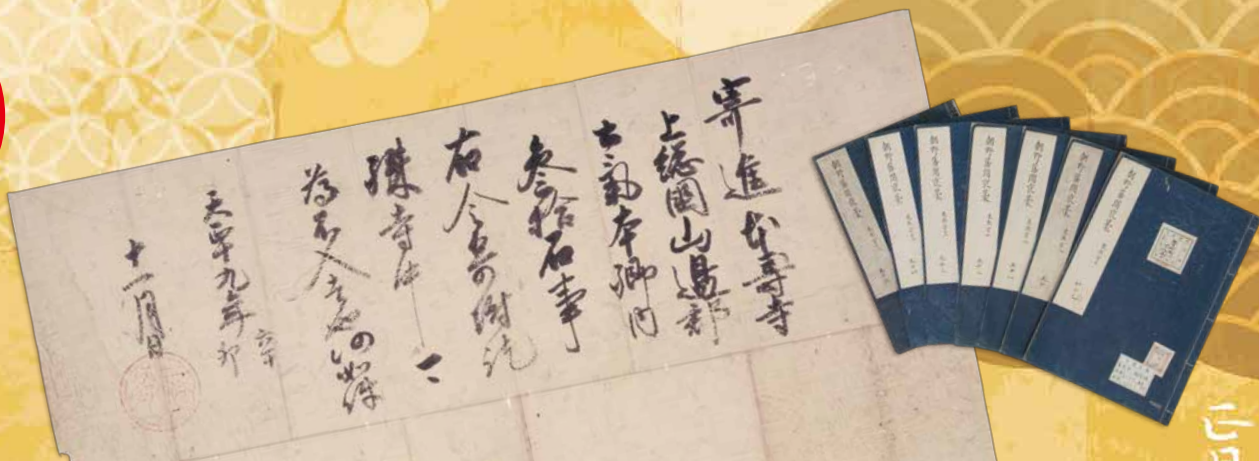


入場  
無料



国立公文書館所蔵資料展

# 徳川家康と房総

令和2年 2月5日[水] — 3月10日[火]

東照大権願  
二月五日

三月上総國土土氣東本全二有御鷹野



主催 独立行政法人国立公文書館 千葉県文書館

休館日 日曜日・祝日、館内整理日(2月28日[金])

開館時間 午前9時から午後5時まで

開催場所 千葉県文書館展示室 千葉市中央区中央 4-15-7 Tel.043-227-7551

文書が現在を過去を未来を語ります

## 千葉県 文書館

[https://twitter.com/chiba\\_pref\\_bun](https://twitter.com/chiba_pref_bun)

# 徳川家康と房総

国立公文書館は、国の機関等から移管を受けた歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧、展示、インターネットによる公開等により利用に供しています。このたび、千葉県文書館において所蔵資料展を開催します。

本展では、国立公文書館が所蔵する江戸幕府から引き継いだ蔵書や資料等と、千葉県文書館が所蔵する徳川家康関係の資料などを展示し、徳川家康の生涯と房総との関わりをご紹介します。

## ごじつき 御実紀



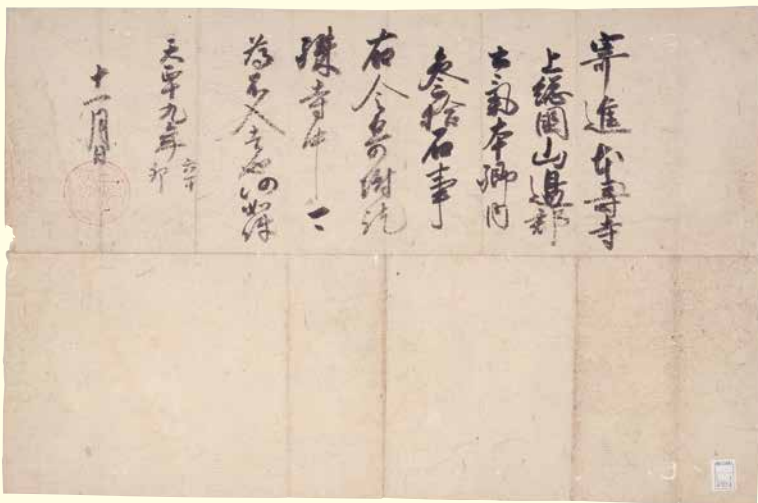
通称「徳川実紀」と呼ばれ、林述齋<sup>じゆせい</sup>により編纂され、天保14年(1843)に完成した幕府の正史です。初代家康から十代家治に至る歴代将軍ごとの治績を編年体で記し、逸話については、付録としてまとめたものです。慶長18年(1613)12月6日条には、家康が翌年正月に上総東金(現在の千葉県東金市)辺りで鷹狩りを行いたいとの意向を示したことが記されており、実際に東金を訪れ、鷹狩りを行っています。全485冊、紅葉山文庫旧蔵。【国立公文書館所蔵】

## かんせいちょうしゅうしょ か ふ 寛政重修諸家譜



幕府によって編纂された大名・旗本の家譜集です。寛政11年(1799)に若年寄堀田正敦<sup>まさあつ</sup>を編集総裁とし、寛永年間に成立した家譜集である「寛永諸家系図伝」を全面的に改訂し、新たに諸家から寛政10年までの系図等を提出させ、およそ14年の歳月を費やし、文化9年(1812)に完成しました。画像は徳川四天王の一人で大多喜藩初代藩主の本多忠勝の箇所。全1530冊、紅葉山文庫旧蔵。【国立公文書館所蔵】

## 徳川家康朱印状 (本寿寺宛て寺領寄進)



家康は豊臣秀吉により、天正18年(1590)7月、関東への移封を命じられます。資料はその1年余後の天正19年11月、土気(現千葉市)の日蓮宗寺院・本寿寺に出された寺領を寄進する旨を記した朱印状で、家康の「福德」の丸印が押されたものです。江戸幕府が開かれた後も、本寿寺には歴代将軍から寺領安堵の朱印状が与えられています。【千葉県文書館所蔵】

### 交通アクセス

- JR外房線・内房線 本千葉駅から 徒歩10分
- 京成千葉中央駅から 徒歩10分
- JR千葉駅から 徒歩20分
- JR千葉駅からバス利用の場合  
駅前バス乗り場2番から中央バスで、3・4番から小湊バスで  
県庁前バス停下車徒歩3分
- JR千葉駅から千葉都市モノレール  
(タウンライナー) 利用の場合  
千葉駅から1号線で県庁前駅下車徒歩3分

